

事例番号:350022

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 36 週 0 日 B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) 陽性

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 6 日 既往帝王切開のため帝王切開目的に入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 0 日

10:00 帝王切開により児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 0 日

(2) 出生時体重:3300g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.29、BE 0.6mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 7 日 退院

生後 28 日 哺乳力低下のため受診後、呼吸停止、全身チアノーゼ、心拍数 220 回/分、瞳孔不同あり、血液検査で CRP 15.56mg/dL、髄液検査で細胞数 26/ $\mu$ L、糖 10mg/dL 未満、蛋白 504.0 mg/dL、血液・髄液培養検査で GBS 検出、連鎖球菌性髄膜炎、急性循環不全と診断

(7) 頭部画像所見:

生後 35 日 頭部 MRI で広範な信号異常を認める

生後 3 ヶ月 頭部 CT で著明な脳実質の萎縮、嚢胞性変化を認める

## 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 1 名、

看護スタッフ: 助産師 1 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、GBS 感染症により、敗血症性ショックおよび細菌性髄膜炎を発症したことであると考えられる。

(2) GBS の感染時期および感染経路は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

(1) 既往帝王切開術後妊娠のため、選択的帝王切開術を行ったことは一般的である。

(2) 帝王切開のための入院後の管理(間欠的胎児心拍聴取、分娩監視装置装着)は一般的である。

(3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

### 3) 新生児経過

出生後から退院までの新生児管理は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

GBS 感染症に対する疫学的調査、予防・診断・治療に対する知見の集積が望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。